

【別紙】 令和5年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立桜町小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	かしこく なかよく たくましく
目指す学校像	子供たちの笑顔(学ぶ笑顔 人とかかわる笑顔 健康で安心して過ごせる笑顔)が輝く学校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	6名
事務局(教職員)	4名

学校自己評価					
領域	年度目標			年度評価(令和6年2月14日現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・小規模校であるため、教員一人一人が担う分掌等、役割が多い。また、経験の差もあり、積極的な学校運営への参画意識の醸成とミドルリーダーを中核とした組織力の向上が必要である。	○分掌業務を主任一人で遂行することのないよう、「チーム」で取り組んでいく。	○部会制を生かしながら複数で業務を遂行できるよう、計画の段階で役割を明確にする。	○業務の分担を計画の中に盛り込み、複数で対応することができた。年次休暇を全員が10日以上取得することができた。	B
		□各教員が主となる立場で職務を遂行することにより学校運営参画意識を高める。	□主任や担任の立場を意識しつつ、「チーム」で取り組むことにより、学校運営への参画意識を高め、ミドルリーダーを育成する。	□一人一主任の立場を自覚し、それぞれがリーダーという経験をして、学校運営へ参画することができた。	A
		◇	◇	◇	
教育課程	各調査結果から学力・体力ともに一定の成果がみられるが、学年・個人に差があり、誰一人取り残さない学びの保障が課題である。	○仲間と協働して、自ら課題を見つけたり、課題を解決したり、新たな考えを生み出したりする力を育成していく。	○指導体制を整え、T.T.を取り入れ、集団と個で学ぶ場を意図的に設定する。日課表を変更し、会議を削減することで、教材研究・生徒指導の時間を確保し授業の質を向上させる。	○T.T.を全学級で実施することができ、集団と個で学ぶ場を意図的、計画的に設定し教育課程を進められた。日課表変更、会議削減も、児童に向き合う時間の確保に効果的だった。	B
		□進んで運動する児童を育成する。	□学校課題研究に向けて、各学年で提案授業を実施し、日々の授業実践に結び付ける。歯科保健、食育をはじめとする健康教育に全校で取り組んでいく。	□体育授業の研究について7本の提案授業を積み上げ、「進んで運動する子」の育成に成果を上げた。健康教育についても児童委員会活動をはじめ日々の取組を積み重ねることができた。	A
		◇	◇	◇	
開かれた学校づくり	保護者、地域、外部機関の教育力を学習活動、教育支援活動に取り入れていく必要がある。	○学校運営協議会による学校経営・運営の推進と、PTA、学校応援団、自治会等との連携により、保護者、地域の教育力を学校に取り入れていく。	○学校運営協議会において、本校の教育活動に理解をいただき、必要な支援を共に考え実施していく。学校だより、HPに教育活動を紹介し、保護者や地域に発信していく。	○保護者学校評価「教育活動を積極的に公開」93%と高い評価を得ることができた。学校運営協議会でも教育活動についてよい評価をいただいている。PTA主催教育講演会を鳩ヶ谷ブロック保護者向けに実施できた。	A
		□	□	□	
		◇	◇	◇	
教職員の資質向上	この3年間、外部の研究授業等に参加することができなかったため、授業づくりのイメージが固定化しているところが見受けられる。	○授業づくりについて学び合う教職員集団を構築して、校内の教職員から学び、授業力を向上する。	○指導体制を整え、T.T.を取り入れ、日々の実践から授業づくりや児童理解について学び合い、自分の授業実践に生かす。	○T.T.を全学級で実施でき、教材と児童の変容について教員同士の対話を通して学び合っていた。「少人数による短時間の聴き合い」が定着してきた。	A
		□授業づくりについて学び合う教職員集団を構築して、校外の実践から学び、授業力を向上する。	□先行研究している学校の研究発表等に参加し、授業づくりについて学んだものを校内で実践、共有する。	□研究発表会も参集型が増えてきて、積極的に参加し授業の雰囲気や空気感も学ぶことができた。自分の授業に取り入れる姿を見ることもできた。	B
		◇	◇	◇	
施設・設備等の管理	施設・設備の老朽化が著しく、各検査項目で基準に達していない項目がある。教材費徴収について、振込制にして2年目となる。	○児童の安心・安全な学び舎として、施設・設備事故ゼロに向けて、計画的な修繕・整備を行う。	○各教室の廊下側照明のLED化、給食室の水質・環境改善に着手する。体育館とプールに関しては、引き続き市教委に働きかけていく。	○校舎内の照度、給食室の水質に関しては、すべて適切との評価を得ることができた。昇降口、児童用水飲み場についても、改修することができた。	A
		□会計事故ゼロを達成するとともに、確実に効率的な会計事務の流れを構築する。	□教材費徴収について、事故防止と保護者負担軽減の観点から、教材や日程の見直しを行う。	□用紙代を2学期から公費から支出することにして、保護者負担軽減を図った。	A
		◇	◇	◇	

学校関係者評価	
※実施日	令和6年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・外部からは見えづらい領域だが、校内であった際の挨拶や笑顔などから、教職員みなさんが健康で安心して、それぞれのチャレンジに集中できる環境なのだろうと察することができ、素敵だと思っていた。 ・学校運営への参画意識の醸成等、コミュニケーションアップにより好結果だった由、更に充実に励んでいただきたい。 ・年次休暇10日以上取得が達成状態となるほど先生方はハードだと感じた。 ・今年度から始まった算数専科は、とてもよかったです。T.T.も、2人の先生に見ていただけるのは遅れがちな子にとってとてもありがたい。 ・学力の底上げのためのペア・グループでの学習でのレベルアップ継続。さらに、専科制、通知表の工夫、学校の働き方改革等に結び付けていただきたい。 ・各学年において、内容に創意工夫があり、児童が授業に集中できている。 ・日々HPにアップされる季節を感じる話や日常の学校の様子なども大好きだが、例えば体育の提案授業についての発信は、先生方がどのような思いで教育活動に取り組んでいるのかなど、日頃あまり見えないところが垣間見られてとても興味深い。 ・学校活動の状況がよく見えるので地域の協力機運も醸成されている。 ・次年度も学校や地域の方々と連携しながら、より有意義なPTA活動を進め、協力していきたいと改めて思った。 ・T.T.の授業、先生同士のコミュニケーションをとることは学校運営に関してもよいことだと思う。 ・外に学びに行ける機会が増えているのは、先生たちにとっても良いことだと思う。授業参観を見ても全員参加型のような授業で見ていると面白いと感じた。 ・風通しのよい学校風土の中で、教職員各々の個性が十分発揮されているように見受けられる。 ・施設、プールの傾き、防災対策北門階段の状況から体育館までの通路等、市への働きかけについても協力して行いたい。給食室の水質、児童用水飲み場の改修等、順調に終了とのこと、安心である。 ・老朽校舎ではあるが、よく維持管理がなされている。また、地域の緊急避難場所として安全確保には、今後もさらなる留意をお願いしたい。 ・日々の丁寧な清掃活動などを通して、子供たちが「古いけれど私たちの学校!」という愛着・誇りのようなものをもっているように感じており、一保護者として感謝している。 	